

# 2年生 道徳学習指導案

場 所：2年生教室

授業者：迫田 一輝

1 主題名 かけがえのない生命

2 教材名 「ハムスター」 <出典：文溪堂 2年生のどうとく>

3 主題構成表

<p><b>■内容項目 生命の尊さ</b></p> <p>生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。</p>	<p><b>■内容項目から見た児童の実態（意識）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育てている野菜の成長を見て驚き、喜びを感じ、愛情をもって育てている。</li> <li>・生き物への興味・関心が高い。</li> <li>・野菜の水やりを忘れてたり、生き物を不必要に触ったりすることがある。</li> </ul> <p><b>■意識の要因</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培・収穫を通して、植物が自分の力で大きく成長する様子を見て自然のすばらしさを感じている。</li> <li>・生き物の姿・形のかっこよさに心がひかれている。</li> <li>・自分の気持ちを優先しがちであり、動植物の生命にまで考えがおよんでいない。</li> </ul>	<p><b>■教材の分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼っていたハムスターが死にそうになり、うずくまったまま少しも動かないので、ハムスターをハンカチでつつみ、手の上であたためた主人公の命を救いたいという気持ちに共感することができる。</li> <li>・目は開かないが、歩こうとする場面では、生きようとするハムスターを応援する主人公の気持ちを考え、ハムスターの生きようとする力をすばらしいと思うことができる。</li> <li>・ひまわりの種をたくさん食べる場面では、ハムスターのような小さな命が一生懸命生きようとして元気になったことに生命の尊さを感じる主人公の気持ちに共感することができる。</li> </ul>
---	---	---

**■ねらい**

どんな動植物にもかけがえのない生命があることに気づき、動植物が元気に生きていることに喜びを感じ、生命を大切にしようとする心情を育てる。

**■展開の構想**

- ・死にそうなハムスターをハンカチで包み、手の上で温めた主人公の気持ちを考えさせ、心配する気持ちや、救いたいという気持ちに共感させる。
- ・目は開かないが、よろよろと歩こうとするハムスターを見る場面では、役割演技を行うことで、主人公のハムスターを心配する気持ちに気付かせたい。さらに深めの発問をすることで、小さくも力強く生きようとするハムスターの生命の尊さに気付かせたい。
- ・日常の生活について振り返りながら、自他の生命を大切にしようとする気持ちをもたせる。

**■基本発問（◎中心発問）**

○ハムスターをハンカチで包み、手の上で温めてた「まさやさん」は、どんなことを考えただろう。

◎目は開かないが、よろよろと歩こうとするハムスターを見て、「まさやさん」は、どんな気持ちだっただろう。

【深】・こんなに一生懸命応援するのはどんな気持ちがあるの。

- ・十分世話をしあげから、もういいんじゃないの。
- ・よろよろしているなら、体を支えてあげたらいいんじゃないの。

○ひまわりの種をたくさん食べたハムスターを見て、「まさやさん」はどんな気持ちだっただろう。

○命を大切にしなければと思ったのは、どんな時だろう。

**■「わたしたちの道徳」の活用（授業前・授業中・授業後・活用しない）**

授業前、P103をもとに、「どのような気持ちで生き物を育てたか」を話し合う。

4 学習指導過程

観	学習活動（基本発問と予想される児童の反応）	指導・援助
<p>気 付 く</p> <p>／</p> <p>見 つ め る</p>	<p>1 ハムスターの説明をする。 ・寿命は2、3年 ・手に乗るくらいの大きさ</p> <p>2 「ハムスター」の紙芝居を見て、感想を交流する。 ・死にそうなハムスターを温める所がすごい（わかるなあ）。 ・「もうすこしだ、がんばれ。」の所がわかるなあ。 ・「やったあ。」と喜んだ所がわかるなあ。</p> <p>3 感想をもとに、主人公について話し合う。 ○ハムスターをハンカチで包み、手の上で温めてあげた「まさやさん」は、どんなことを考えただろう。 ・心配だな、どうしよう。 ・助かってほしい。 ・お願いだから、元気を出してくれ。 ・温かくなって元気を取り戻して。 ◎目は開かないが、よろよろと歩こうとするハムスターを見て、「まさやさん」は、どんな気持ちだっただろう。 ・本当に助かるかもしれない。 ・前みたいに元気に歩いてほしいよ。 ・もう少しだ、頑張っ。</p>	<p>・ハムスターの写真を提示する。 ・事前にアンケートをとり実態を把握し、意図的指名に生かす。 ・紙芝居を用いて教材の世界に入りやすくする。 ・主人公について、「わかる」「すごい」という視点で感想をもたせる。</p> <p><b>研究(2)①役割演技の位置付け</b> ・「まさやさん」が死にそうなハムスターをハンカチの上で温める場面で役割演技をさせることで、心配する気持ちや、命を救いたいという気持ちに共感させる。 ・役割演技をしている仲間の姿を見て、「まさやさん」の気持ちを発表させる。</p>
<p>・</p> <p>深 め る</p>	<p>【深めの発問】</p> <p>・こんなに一生懸命応援するのはどんな気持ちがあるの。 ・十分世話をしてあげたから、もういいんじゃないの。 ・よろよろしているなら、体を支えてあげたらいいんじゃないの。</p> <p>・何とか助かってほしいからだよ。 ・よくないよ。小さくても一生懸命生きようと頑張っているから応援したいんだ。 ・だめだよ。だって自分の力で一生懸命生きようとしていてすごいと思うから。</p> <p>○ひまわりの種をたくさん食べたハムスターを見て、「まさやさん」はどんな気持ちだっただろう。 ・元気になってよかった。 ・ハムスターも頑張っているなあ。 ・これからはもっと大切に育てていこう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>小さな命でも一生懸命生きているから、生き物の命も大切にしたいな。</p> </div>	<p><b>研究(2)②深めの発問の工夫</b> ・子どもの思考に沿わせることができるように複数用意する。</p> <p><b>研究(2)②語り合いの工夫・ペア交流</b> ・多様な考えに触れることができるように、自分の考えを理由付きで交流できるように指導する。 ・自分の体験とつなげて話すように指導する。 ・話型を示して話す手がかりにさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①～だなあ。 ②だって～だから。 ③それに～。</p> </div>
<p>／</p> <p>見 い だ す</p>	<p>4 命について、自分の生活とつなげて振り返る。 ○命を大切にしなければと思ったのは、どんな時だろう。 ・家で飼っていた金魚がおなかを上に向けて水面に浮かんでいたのを見つけました。死んでしまったのかなと思って網で掬おうとしたらぴくっと動きました。その時に弱っているけれど一生懸命生きようとしている金魚を見てすごいと思ったし、命を大切にしたいと思いました。</p> <p>5 本時の自己評価をする。 ・主人公になりきって考えることができたか。 ・友達の考えにつなげて考えたか。</p>	<p><b>研究(2)①振り返りの工夫</b> ・「いつ」「どこで」「どんなこと」「その時の思い」を書かせることで、具体的に振り返ることができるようにする。 ・場面が想起できるように声かけを行う。</p> <p>・プリントを配布し、当てはまるものにチェックをする。</p>

## 5 道徳の時間（本時）と他の教育活動との関連

<日常生活>	<教科・特活>	<児童の意識>	<指導・援助>
<p><b>分団登下校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通ルールを守り、安全に登下校する。</li> </ul> <p><b>朝の会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康観察で毎日の健康状態を確認する。</li> </ul> <p><b>休み時間</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>廊下の右側歩行、遊具の使い方など、決まりを守り、安全に生活する。</li> <li>野菜が枯れてしまわないように水やりをする。</li> <li>教室の花や生き物の世話をする。</li> </ul> <p><b>授業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい姿勢で席に座る。</li> <li>上靴はきちんと履く。</li> </ul> <p><b>給食</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アレルギーをもつ仲間が安全に給食を食べられるようにクラスみんなで配慮する。</li> </ul>	<p>7月（道徳）</p> <p><b>ふしぎな音</b></p> <p>命があるからこそ、いろいろなことができることに気づき、たった一つしかない自分の命を大切にしようとする心情を育てる。</p> <hr/> <p>6～7月（生活科）</p> <p><b>生きものなかよし大作せん</b></p> <p>生きものを採集し、飼育し続ける。</p> <hr/> <p>9月（行事）</p> <p><b>命を守る訓練</b></p> <p>「お・は・し・も・ハ」を合言葉に素早く安全に避難経路を通して避難する。</p> <p>・自分の命は、自分で守ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心臓が1日で11万回も動いているなんて知らなかった。</li> <li>校医の野田先生の話の通り、命を大切にしないといけないな。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひっくり返ったアカミミガメが、首を上手にひねってもとにもどったぞ。面白いな。</li> <li>バッタが脱皮をしたよ。僕たちと一緒に食べ物を食べて大きくなるんだね。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全に避難するためには、「お・は・し・も・ハ」が大切だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の生活について、自己への「命を大切にしよう」とする意識と行動を振り返ることができるようにする。</li> <li>校医の野田先生から届いた命についての手紙を朗読し、命を大切にしようという価値への意識を高める。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生きものを大切に育てている姿を紹介すると共に、その心情について問いかけ、道徳の時間と関連させて価値付ける。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の命を守るために、静かに素早く安全に避難している姿を紹介し、価値付ける。</li> </ul>

### 道徳の時間（本時） 生命の尊さ 資料名「ハムスター」

本時のねらい

どんな動植物にもかけがえのない生命があることに気づき、動植物が元気に生きていることに喜びを感じ、生命を大切にしようとする心情を育てる。

<p><b>家庭</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペット等、育てている動植物を大切に作る。</li> </ul>	<p>1～3月（生活科）</p> <p><b>あしたへジャンプ</b></p> <p>自分の生活や成長を振り返る中で、自分ができるようになったことを知り、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつ。</p> <p>・生命あるものは大切にしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学してから、いろいろなことができるようになったよ。3年生では～ができるようになったいな。</li> <li>ここまで大きくなるために多くの人に支えられたんだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身の生活を振り返り、これまでの生活や成長を支えてくれた人々のことや、これからの成長について考え、それを素直に表現している姿に価値付けをする。</li> </ul>
---	--	---	---

小さな命でもいっしょうけんめい生きていくから、生き物の命も大切にしよう。

・元気になるってよかった。  
・生きていてよかった。  
・これからはもっと大切に育てよう。

**ひまわりのたねをたくさん食べた。**

・小さくても生きようとがんばっている。  
・本当に助かるかもしれない。  
・がんばれ。  
・もう少しだ。

**目は開かないが、よろよろと歩こうとする。**

・助かってほしい。  
・元気になって。

**ハムスターをハンカチにつつま、手の上で温めた。**

ハムスター

- ・じゅみょう…2、3年
- ・大きさ…手にのるくらい